

2024 JANUARY

No.163

一般社団法人 川崎建設業協会 一般社団法人 神奈川県建設業協会川崎支部

協会

ニュース



目 次

3……	協会長挨拶	(一社) 川崎建設業協会 会長 山根 崇
4……	2024 年市長年頭あいさつ	川崎市長 福田 紀彦
<hr/>		
■ 安全のページ		
5……	災害を教訓に	川崎北労働基準監督署 署長 渋谷 勇一
<hr/>		
■ 理事会ニュース		
6……	9 月太子講祭	
6……	理事会ニュース	
7……	懇談会・説明会・見学会・その他行事	
8……	関係団体の動き	
9……	各方面への協力	
10……	表 彰	
10……	特設作業隊関係	
10……	会員消息	
<hr/>		
■ 二世会だより		
11		
<hr/>		
■ 棺の音		
13……	第 44 回かわさき市民祭り	
16……	現場レポート「川崎市新本庁舎竣工を迎えて」	
<hr/>		
■ 会員の作品		
19……	コンテナ関連施設内付帯施設新築その他工事 大川原建設 株式会社	
20……	川崎市新本庁舎復元棟新築工事 株式会社 小川組	
21……	南町地区下水枝線第 103 号工事 株式会社 由貴工務店	
22……	京町 1 丁目 500mm - 100mm 配水管布設替工事 石塚・神明共同企業体	
23……	表紙の写真説明、編集後記	

石川県能登地方を震源とする能登半島地震により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方、そのご家族、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



(一社)川崎建設業協会 会長

山根 崇

新春の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日頃より一般社団法人川崎建設業協会の活動にご理解並びにご協力をいただき心より感謝申し上げます。

昨年も日本では多くの災害が発生しました。我々は日常的に地震や台風など、自然災害の脅威にさらされています。その大きな要因として気候変動が問題となっています。我々、中小建設業の責務は災害発生時に公共インフラを速やかに応急復旧すること、そして市民生活をスムーズに復興支援をしていくことでもあります。そのために川崎建設業協会では特設作業隊を組織しておりますが、今後も行政との連携をより一層深め、日々有事に備えていく必要があります。そして昨年の異常気象を考えるとこの気候変動に対しても対応していかなくてはなりません。カーボンニュートラル、脱炭素の取り組みを中小建設業としても行っていく必要に迫られています。工事作業所において使用する重機、原材料のカーボンニュートラル化、建築する上でのZEH・ZEB基準の導入など行えることを各企業がそれぞれ行っていくが求められています。正直なところ一つ一つの取り組みは限定的になってしまうと思いますが、その積み重ねが大事であり、会員企業皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、現在、中小建設業は材料価格の高騰や担い手不足により業況が悪化しています。実際に中小企業基盤整備機構がまとめた10月から12月の中小企業景況調査報告書によると建設業の景況判断を示すDI値は前期と比べ悪化しており、4期連続で低下しています。今後の経営のかじ取りが非常に難しい局面となっています。

また今年4月からははいよいよ時間外労働時間の上限規制が適用されます。担い手不足を在職者の長時間労働で賄っていた部分もあり、厳しさを感じます。発注者側にも適正な工期の設定、施工時期の平準化、適正な請負額の設定を

求めていかななくてはなりません。

上記の事柄も含め、建設業は多くの課題を抱えています。一番大きな課題はまず、労働者の確保をどのように行っていくのが問題となっています。明らかに高齢化が進み若手技術者の流入が少ない状態の中でやはり着目すべきは女性の技術者比率を上げることが重要となります。現状の技術者における男女比率2%というは全産業の中でも著しく低く、正直なところ女性が活躍できる職業のイメージは全くないものとなっています。まずは安全管理やまた衛生管理を大きく改善し、労働環境を見直すことが必要であります。そのような個々の努力により女性の技術者が増えれば自ずと若者が建設業を志すことも必ず増えると考えます。是非とも働きやすい職場づくりに努めていただければと思います。

そして次の課題は新しい技術の導入やIOTなど建設DXを進めることです。長時間労働になりやすい建設業において、業務効率や生産性の向上は必要不可欠であります。ルーティンワーク化したものはデジタル化を促進し効率的に仕事が行える環境づくりは作業環境を改善し、労働時間の削減につながります。また担い手不足が続く中で省人化も図れると考えます。協会としても情報収集そして発信をまいりますので会員企業の皆さまも建設DXの取り組みにご理解とご協力を頂ければと思います。

そして最後に安定的な利益を確保することです。現在も続いている資材単価の高騰は経営環境をまちがいなく悪化させています。予定をしていた利益を確保することが困難な状況に陥っており、改善が求められます。インフレライドなどにより多少の利益上昇は見込まれますが、これから週休2日制の導入、賃金の上昇を考えても根本的な受注金額の見直しが必要であります。協会としても発注者側に要望してまいりたいと思います。

さて本年はいよいよ川崎市市制100周年を迎えました。同時に全国都市緑化かわさきフェアも開催されることで多くの人が川崎を訪れ、賑わいのある1年となることを願います。これまでも川崎の発展と共に「まちづくり」を行ってきた川崎建設業協会として持続的に事業を行い、川崎市をより発展させるため、また建設業の発展のために協力をしていきたいと考えております。どうか皆様のご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

最後に、協会として、将来に渡り地元建設業で働こうという人材を地域で育み、そして地域の建設業で働いてもらう。そして地域の仕事は地元で行う。地域で何かあった際には必ず先陣を切って動くそんなことを目指し活動してまいりたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

2024 年市長年頭あいさつ



川崎市長
福田 紀彦

新年、あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、今年一年が明るい話題にあふれた良い年になりますようお祈りいたします。

昨年を振り返りますと、社会経済活動の正常化に伴い、様々な催しが数年ぶりに実施され、人とふれあうことの喜びを改めて実感した一年でした。一方で、世界情勢の激変による物価高騰が続いたため、市民や事業者の皆様への支援に取り組んでまいりました。

今年、市制 100 周年という歴史的な節目を迎えます。これまでの歴史を振り返り、本市の発展に貢献いただいた先人の努力や功績に感謝するとともに、この機会を新しい川崎を生み出していくためのスタートラインと捉え、全国都市緑化かわさきフェアをはじめとして、皆様との協働・共創により、市内各地で「多様で多彩なアクション」を生み出し、次の 100 年に向けた取組につなげてまいります。

比較的平均年齢が若い都市である本市でも、少子高齢化は喫緊の課題となっており、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、安心して子育てができるよう、多子世帯のきょうだい同一園に入所できる機会や、保育料の減免を拡充するなど、「安心のふるさとづくり」に取り組んでまいります。

こうした取組を支える「力強い産業都市づくり」として、世界最先端の研究開発機関や企業が集積する臨海部では、大規模土地利用転換により、水素を軸としたカーボンニュートラルエネルギーの拠点形成に向け、取組を加速してまいります。

また、エネルギーの地産地消や市域への再生可能エネルギーの普及拡大に向け、「川崎未来エナジー株式会社」が事業を開始いたします。市民の皆様と一緒に、オール川崎で脱炭素社会の実現に向け挑戦してまいります。

昨年完成した本庁舎は、最新の免震構造を採用するなど高い耐震性能と業務継続性を確保しており、こうした機能を活用しながら防災対策をさらに進めてまいります。

複雑化・多様化する課題を、地域の実情を踏まえ迅速に解決していくためには、指定都市制度を改革し、大都市の権限や財源を拡充する必要がありますので、「特別市制度」の法制化に向けて取り組んでまいります。

引き続き、「成長」と「成熟」の調和する「最幸のまち かわさき」の実現に向けて取り組んでまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

災害を教訓に

川崎北労働基準監督署 署長 渋谷 勇一

令和6年の新春を迎えるに当たり、一般社団法人川崎建設業協会及び会員の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、日ごろから労働基準行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜っておりますことにつきまして、厚く御礼申し上げます。

昨年は、第14次労働災害防止計画のスタートの年でありました。この労働災害防止計画の目的は、労働災害の防止であります。

そのスタートした昨年、神奈川労働局管内の建設業における労働災害は、8月末までに過去10年間で最悪のペースで死亡災害が発生した状況にありました。ここ川崎市にある川崎南及び川崎北労働基準監督署の管内でも令和5年12月14日時点までに建設業では、3件の死亡災害が発生しました。それぞれの死亡災害の事故の型別では、「交通事故」、「飛来落下」、そして、「おぼれ」によるものでした。

これらの死亡災害から「おぼれ」となった事案について紹介します。この災害は都市河川の護岸工事であって、日ごろは、水量がほとんどない河川工事でありました。

ある日、未然に越水対策や過去の経験から各種災害防止対策が講じられていたにもかかわらず、近年の異常気象のゲリラ豪雨によって、想定をはるかに超えた短時間での増水から逃げる間もなく、作業員が流されおぼれた労働災害でした。河川工事においては、まさに工事を行っている場所でさほど雨が降っていなくても、上流部でゲリラ豪雨となれば、その水量が一気に下流に流れてくることになるので、このような気象状況に影響を受ける工事については、日ごろより、広範囲の気象状況を確認する必要がありますし、更に、近頃の気象状況は過去の経験では想定し得ないものとなっておりますので、急激な増水や土石流など早期把握等の措置を講ずるための警戒降雨量基準や作業を中止して退避させるための作業中止降雨量基準等を今までの基準を見直すことや警報用設備や避難用設備の増設などの検討が必要です。今後、自然環境の影響を受ける工事については、近年の気象状況を考慮した計画や現場管理の在り方についてもより迅速な判断が大変重要になってくるという災害でありました。

もう一つ建設現場における災害を紹介させていただきます。昨年、管内では、建設現場で移動式クレーンなどの建設重機が相次いで転倒する災害が発生しました。これらの災害では、重篤な人的被害はなかったもののそれぞれ大きな物的損失が発生しております。災害の原因は、それぞれ異なりますが、主な原因のひとつに過負荷防止装置いわゆるリミッターを解除して、オペレーターの「ここまでは大丈夫だろう」という根拠のない経験値によって、オーバーウエイトの荷を無理に吊り建設重機を転倒させる災害が相次いだことです。定格過重を超える荷重をかけて使用する行為は、当然違法行為となります。違法行為に

ついては、決して許されるものではありません。しかし、災害原因を調査している中で聞こえてくるのは人手不足が影響しているということです。職人の確保がなかなか難しい昨今の状況によって、一時的に工事がストップし、影響した工期の遅れを取り返すため無理な作業を行った結果、災害が発生していることが少なからず起きていることです。人手不足の中、労働災害による人的損失は絶対に避けなくてはなりません。人手不足や工期などの問題は、受注者だけの問題ではなく、発注者側など施工時の安全衛生の確保した工期の設定や必要経費の算出などとともに社会全体が理解して解決していく必要があります。前記のとおり工期が遅れていることを理由に法令や安全を無視した作業は決して許されるものではありませんので今後とも法令遵守をお願いいたします。以上の災害事例を教訓に加え、これからも人命尊重という理念の基、より一層の安全衛生管理の向上により労働災害防止の取組をお願いいたします。

そして、本年度は、労働基準行政の最重点課題のひとつに「働き方改革の推進に向けた労働時間に関する法制度施行の周知」があります。いよいよ建設業では他の産業とは別に5年間の猶予を受け、労働基準法に基づき36協定で定める時間外労働の上限規制の適用が今年施行されます。この改正内容は、4月1日以降、時間外労働の上限時間が原則月45時間・年360時間となり、臨時的な特別の事情がなければ、超えることができなくなります。また、臨時的な特別の事情（特別条項）があっても、「1年間の時間外労働は720時間以内」、「1か月の時間外労働と休日労働の合計は100時間未満」、「時間外労働と休日労働の合計について、「2か月平均」「3か月平均」「4か月平均」「5か月平均」「6か月平均」の全て1か月当たり80時間以内」、「時間外労働が月45時間を超えることができるのは年6回まで」のとおり時間外労働・休日労働はできなくなります。なお、例外規定があります。災害時の復旧・復興の事業に関しては、時間外労働と休日労働の合計について、「月100時間未満」、「2～6か月平均80時間以内」の規制は4月1日以降も適用されません。ただし、復旧・復興においても、年720時間の上限及び月45時間を超えることができる6か月の限度は、適用されます。これらの内容を含めた働き方改革の推進するため、中小規模の事業場を対象に労働時間に関する法制度の周知や時間外労働等改善助成金などの各種支援策がありますので、御利用いただき、法令に沿った労働時間管理の在り方についてご対応をお願いいたします。

最後になりますが、建設業を取り巻く環境は大変厳しい状況であることを心中お察ししますが、貴協会及び会員事業場の皆様方におかれましては、新しい年が素晴らしい年になるよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

9月太子講祭

9月27日、川崎建設会館において、令和5年9月太子講祭は、91名が参加し開催され、自由参拝、慰霊法要に続き、川崎南労働基準監督署主任監督官による「建設の事業における時間外労働の上限規制について」の講習会を行った後、同会場において懇親会を行った。

理事会ニュース

9月13日(水)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業報告について

総務委員会：健康診断の実施について

※令和5年度9月太子講祭の開催について

※会員従業員永年勤続協会表彰について

※令和5年度川崎市総合防災訓練・第44回九都県市合同防災訓練に係る費用の支出について

◆多摩作業隊

①川崎市総合防災訓練参加費一式：866,000円

②作業隊活動費(支給額)

※算定基礎80,000円(一律)+2,500円×隊員数(多摩作業隊12社)=110,000円

※令和5年度第1回幸区総合防災訓練参加に係る費用の支出について

9月10日(日)幸区河原町グランドほか

※令和5年度川崎市優良建築設計者表彰対象者の推薦について

まちづくり局長

令和5年度推薦予定会社：(株)小川組(建築委員会推薦)

※第44回かわさき市民祭りへの参加と協賛について

かわさき市民祭り実行委員会

日 時 11月3日(金・祝)～

5日(日)午前10時～午後4時30分

場 所 川崎区富士見公園一帯

協賛金 10万円

※第41回幸区民祭への協賛について

日 時 10月21日(土)・22日(日)午前9時から

場 所 幸区役所一帯

※建通新聞社「防災・減災特集号」への広告掲載について

※日刊建設工業新聞「創刊95周年記念特集号」への広告掲載について

※健康診断の実施について

(1)日 時 10月17日(火)

午前9時30分～11時30分・午後1時～3時30分

場 所 川崎市民プラザ

(高津区新作1-19-1 ふるさと劇場)

(2)日 時 10月26日(木)午前9時00分～11時30分

場 所 川崎建設会館 4階講堂

※工事請負契約における入札契約制度の見直しについて

財政局長

※令和6年度特定業務委託契約の作業報酬下限額について

財政局契約課長

(神建協)

特にありません。

10月18日(水)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業報告について

企画委員会

①第44回かわさき市民祭りの出店について

日 時 11月3日(金・祝)～5日(日)

午前10時～午後4時30分

場 所 川崎区富士見公園一帯(テントNo.512)

②川崎市市制100周年に向けた車両用マグネット等の作成について

※令和5年9月太子講祭収支等の報告について

※令和6年正月太子講祭の開催について

※令和6年正月太子講祭実行委員会の編成について

※会員の入会について

◆(株)I&I代表取締役 今村 文治

入会希望日：11月1日

※第22回建災防川崎南北分会合同安全大会の共催について

建設業労働災害防止協会神奈川県支部川崎南・北分会長

日 時 11月27日(月) 午後2時～4時

場 所 高津市民館 11階ホール

※令和5年度宮前区防災フェア参加に係る費用の支出について

9月23日(土・祝) 宮前区宮崎第4公園

※令和6年かいぎしよ新年号(1・2月号併合)の誌上年賀掲載について

※赤い羽根共同募金運動への協力について

社会福祉法人神奈川県共同募金川崎市支会連合会会長

川崎商工会議所会頭、川崎南法人会会長ほか連名

※建築物の解体・改修工事に係る事前調査について

環境局環境対策推進課長ほか

※令和5年度違反建築防止週間

まちづくり局長

実施期間 10月15日(日)～10月21日(土)まで

一斉公開建築パトロールの実施 10月16日(月)・17日(火)

※顧問弁護士による法律相談日の日程変更について

◆令和5年12月の第4木曜日(12月28日)は、仕事納めの日と重なるため、前週の21日(木)に変更します

※「民間(七会)連合協定工事請負契約約款」の販売について

本年10月より、インボイス制度が開始されたことから(一社)神奈川県建設業協会と販売委託契約を締結し、2部1セット1,100円(税込)(※インボイス制度登録番号入り領収証発行)にて販売いたします。

(神建協・連絡)

特にありません。

11月15日(水)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業報告について

- 総務委員会：健康診断の実施結果について
- 企画委員会：第44回かわさき市民祭りの実施結果について

※令和6年正月太子講祭の招待者について

※年末助け合い運動への協力について

※KAWASAKIガーデン事業「向ヶ丘遊園駅南口花壇設置」に係る協賛について

●花壇1㎡あたり5万円/年間の協賛金×4㎡=20万円

※第22回高津地区防災訓練参加に係る費用の支出について
10月28日(土)川崎市立東高津小学校

※かわさき市民放送2024年「声の年賀状」の放送について
放送予定日 1月1日(月)午前9時～10時・午後6時～7時(再放送)

※新聞各社への年賀広告掲載費の支出について

※事務職員に対する年末手当の支給について

※川崎地区建設業労働時間削減推進協議会の開催について(勸奨)

川崎南労働基準監督署長

※川崎地区建設業労働時間削減推進協議会の開催について

川崎南労働基準監督署長・川崎北労働基準監督署長

※経審評点・格付制度対策セミナーについて

建通新聞社神奈川支社

※年末年始の行事日程について

(神建協・連絡)

特にありません。

12月13日(水)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※令和5年度第1回宮前区総合防災訓練参加に係る費用の支

出について

11月26日(日)川崎市立菅生小学校

※令和6年新年賀詞交換会について

(協会、神中建川崎支部 共催)

日時 令和6年1月5日(金) 午前11時

場所 川崎建設会館 4階講堂

※令和6年正月太子講祭について

日時 令和6年1月25日(木) 午後3時15分 太子開講
午後4時 開会

場所 川崎日航ホテル12階 鳳凰の間

※令和6年度予算への要望の回答について

川崎市長

※令和5年度「飲酒運転根絶強化月間」及び「年末の交通事故防止運動」の実施について

川崎市交通安全対策協議会会長

飲酒運転根絶強化月間 12月1日(金)～31日(日)

年末の交通事故防止運動 12月11日(月)～20日(水)

(神建協・連絡)

※令和6年建設業関係5団体合同賀詞交歓会の開催について

日時 令和6年1月11日(木) 午前11時

場所 横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟「鳳翔」

懇談会・説明会・見学会・その他行事

【令和6年度への予算要望について】

7月12日、7月18日の両日、正副会長並びに岡村神中建川崎支部長は、川崎市議会の各議員団の主催する、「令和6年度予算への要望」に対する懇談会、意見交換会に出席し、8項目の要望について説明を行った。

＝要望項目＝

- (1) 週休2日制導入に対する設計労務単価の見直しについて(建築・継続)
- (2) 補助金事業における補助金額の見直しについて(建築・継続)
- (3) PPP・PFI事業導入に関する対応について(建築・継続)
- (4) 資材単価高騰に対する単品スライドの導入について(建築・新規)
- (5) 発注時期及び施工時期の平準化について(土木・新規)
- (6) 施工難度に基づく補正と工事成績評定での加点について(土木・新規)
- (7) 「設計変更ガイドライン」に基づく適切な設計変更について(土木・新規)
- (8) 監督員や検査員に対する受注者からの評価収集について(土木・新規)

7月13日、川崎建設会館において、建築委員会はまちづくり局施設整備部と意見交換会を開催した。まちづくり局より関口施設整備部長をはじめ7名が出席、建築委員会より大島担当副会長、大川原委員長をはじめ12名が出席し、資材単価高騰への対応や週休2日制確保工事の完全実施の導入、キャリアアップシステムについてなど多岐にわたり意見を交換した。

8月1日、川崎建設会館において、土木委員会は財政局契約課と入札等に係る打合せ会を開催した。契約課より大塚課長をはじめ3名が出席、土木委員会より正副委員長3名が出席した。

8月9日、川崎建設会館において、土木委員会は建設緑政局技術監理課と技術研修会等についての意見交換会を開催した。建設緑政局より星野技術監理課長をはじめ3名が出席、土木委員会より正副委員長3名が出席した。

9月1日、川崎建設会館において、建築委員会は健康福祉局と補助金事業における補助金額の継続的な見直し等について意見交換会を開催し、市側から野中施設課長をはじめ3名が出席、建築委員会から大島担当副会長、大川原委員長をはじめ12名が出席した。

9月27日、川崎建設会館において、9月太子講祭が開催され、開会に先立ち、令和5年度川崎市優良事業者表彰受賞者及び若手技術者表彰受賞者、女性技術者表彰受賞者の顕彰並びに令和5年度永年勤続者表彰を行なった後、山根会長挨拶、伊藤僧正による会員物故者慰霊法要を行なった。その後、川崎南労働基準監督署主任監督官による「建設の事業における時間外労働の上限規制について」の講習会を行なった後、懇親会を開催し、会員60名をはじめ91名が出席した。

10月17日、川崎市民プラザにおいて、労働安全衛生法に基づき、会員従業員等を対象に巡回健康診断が実施され、97名が受診した。

10月26日、川崎建設会館において、労働安全衛生法に基づき、会員企業従業員等を対象に巡回健康診断が実施され、116名が受診した。

なお、今年度は、10月17日の市民プラザと併せ213名(市民プラザ:97名、川崎建設会館:116名)が受診した。

11月3日(金・祝)～5日(日)、川崎区富士見公園一帯で開催された第44回かわさき市民祭りに川崎建設業協会が参加し、担当である企画委員会は、各区作業隊の協力のもと、災害に係る被災地の救援パネル展示、建設小型重機の試乗撮影などを行い、協会の存在を広くアピールした。また、これに伴う費用は、参加費、景品代、重機リース、作業隊日当等を含め401,483円となった。

11月15日、川崎建設会館において、令和6年正月太子講

祭第1回実行委員会を開催し、開催方法等について検討した。

11月24日、川崎建設会館において、建築委員会は財政局資産管理部との意見交換会を開催し、財政局契約課より大塚課長をはじめ3名、検査課より柳課長をはじめ2名が出席、建築委員会より大島担当副会長、大川原委員長をはじめ13名が出席し、週休2日制の実施に伴う経費、工事請負契約における変動型制限価格方式の試行実施等について意見交換を実施した。

12月5日、川崎建設会館において、土木委員会主催の技術説明会(勉強会)が開催され、市側より建設緑政局5名、幸区役所、高津区役所道路公園センター5名、川崎市造園建設業協同組合より5名が出席、土木委員会より重田委員長をはじめ8名が出席して、㈱トッププランニングJAPANから「経年劣化した照明柱の長寿命化対策(FRPシップ工法)」について説明を受けた。

関係団体の動き

7月12日、県建設会館において、第3回常任理事会が開催され、村松副会長が出席した。

7月18日、県庁新館において自民党神奈川県議団との予算要望ヒアリングが開催され、村松副会長が出席した。

7月19日、鉄鋼会館において、三県連絡協議会が開催され、村松副会長が出席した。

7月20日、県庁新館において、神奈川みらい神奈川県議団との予算要望ヒアリングが開催され、村松副会長が出席した。

7月25日、県庁新館において、公明党神奈川県議団との予算要望ヒアリングが開催され、村松副会長が出席した。

8月3日、県建設会館において、県土整備局との意見交換会が開催され、村松副会長が出席した。

8月10日、神奈川県建設会館において、教育機関との情報交換会が開催され、村松副会長が出席した。

9月12日、県建設会館において、第4回常任理事会が開催され、村松副会長が出席した。

9月26日、神奈川県建設会館において、第2回理事会が開催され、村松副会長、福島理事、重田理事、佐藤理事、山根監事が出席した。

10月10日、ワークピア横浜において、神奈川県産業団体連絡協議会が開催され、村松常任相談役と大川原相談役が委員として出席した。

10月17日、神奈川県建設会館において、第5回常任理事会が開催され、村松副会長が出席した。

10月27日、ワークピア横浜において、関東地方整備局との懇談会及び意見交換会が開催され、村松副会長が出席し

た。

11月21日、神奈川県民ホールにおいて、第65回神奈川県建築コンクール表彰式が開催され、村松副会長が出席し、入賞者に表彰状を授与した。

12月5日、ローズホテル横浜において、第6回常任理事会が開催され、村松副会長が出席した。

各方面への協力

7月14日、川崎建設会館において、川崎市市制100周年に向けた公共建築の取組みについての意見交換会が開催され、まちづくり局施設整備部より施設計画課柳瀬担当課長をはじめ3名が出席、当協会より佐藤副会長、大川原建築委員会委員長が出席し、今後の対応について意見交換を行った。

7月18日、市役所第4庁舎において、令和5年度川崎市木材利用促進フォーラム総会が開催され、大川原建築委員会委員長が委員として出席した。

7月20日、川崎市産業振興会館において、川崎市労働問題懇談会が開催され、大島副会長が委員として出席した。

7月20日、川崎日航ホテルにおいて、協同組合川崎市建築家の会第31回通常総会懇親会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

7月21日、川崎日航ホテルにおいて、令和5年度川崎市の幹線道路の整備を促進する会の令和5年度総会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

7月25日、神奈川県庁において、第1回神奈川県i-Construction推進連絡会実務者部会が開催され、土木委員会より遠藤委員、河合委員が出席した。

8月9日、川崎市産業振興会館において、令和5年度第1回川崎市産業振興協議会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

8月22日、ワークピア横浜において、「かながわインフラDX推進セミナー」及び「第2回神奈川県i-Construction推進連絡会実務者部会（意見交換会）」が開催され、土木委員会より重田委員長と藤原副委員長が出席した。

8月25日、市役所第3庁舎において、令和5年度川崎市優良事業者表彰式が開催され、山根会長が来賓として出席した。

8月28日、川崎日航ホテルにおいて、令和5年度秋季関東甲信越地区道路利用者会議が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

8月29日、川崎フロンティアビルにおいて、川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会第3回総会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

8月29日、川崎日航ホテルにおいて、自民党神奈川県第

10選挙区支部第28回定期大会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

9月15日、武蔵小杉タワープレイスにおいて、令和5年度かわさき市民放送第3回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

9月28日、川崎北労働基準監督署において、第22回建災防川崎南北分会合同安全大会の開催に伴う打合せ会議が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

10月1日、ステーションコンファレンスにおいて、福田紀彦川崎市長の川崎区・幸区市政報告会が開催され、山根会長、専務理事が出席した。

10月1日、東海道かわさき宿交流館において、東海道かわさき宿交流館開館10周年記念式典が開催され、山根会長が出席した。

10月3日、市役所第4庁舎において、多様な主体との連携による公共建築の魅力発信事業の全体会議が開催され、当協会から大川原建築委員会委員長と吉田企画委員会委員長が出席した。

10月4日、市役所第4庁舎において、第44回かわさき市民祭り出店者説明会が開催され、企画委員会より吉田委員長が出席した。

10月23日、川崎市役所新本庁舎において、第44回かわさき市民祭り運営委員会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

10月25日、川崎市立新作小学校において、川崎市木材利用促進フォーラム主催による新作小学校木造増築棟現場見学会が開催され、大川原建築委員会委員長が委員として出席、また、建築委員会より大島担当副会長、鈴木副委員長、鳥羽副委員長が出席した。

11月3日、かわさき市民祭り会場において、第44回かわさき市民祭り開会式が開催され、佐藤副会長が運営委員として出席した。

11月6日、川崎市役所新本庁舎において、川崎市役所新本庁舎開庁記念式典が開催され、山根会長と佐藤副会長が出席した。

11月13日、ヨコハマロイヤルホールにおいて、令和5年度道路整備の促進を求める神奈川県大会が開催され、山根会長が川崎市道路利用者会議の副会長として出席した。

11月14日、川崎市産業振興会館において、令和5年度川崎市労働災害防止研究集會が開催され、大島副会長が委員として出席した。

11月14日、川崎市産業振興会館において、令和5年度川崎市労働災害防止研究集會が開催され、当協会より門ノ沢専務理事並びに企画委員会より4名の委員が出席した。

11月14日、ホテルKSPにおいて、青木のりお第44代川崎

市議会議長就任を祝う会が開催され、正副会長をはじめ多くの会員が出席した。

11月22日、川崎市PPPプラットフォームコアメンバー会議がオンラインで開催され、大島副会長が委員として出席した。

11月24日、市役所本庁舎において、令和5年度川崎市国民保護協議会が開催され、山根会長が委員として出席した。

11月24日、川崎建設会館において、交建会主催による「令和5年度安全講習会」、並びに終了後、稲毛神社において安全祈願祭が開催され、山根会長が来賓として出席した。

11月27日、高津市民館において、第22回建災防川崎南北分会合同安全大会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

12月6日、カルツかわさきにおいて、川崎南労働基準監督署並びに川崎北労働基準監督署主催の川崎地区建設業労働時間削減推進協議会が開催され、当協会から多くの会員が出席した。

12月11日、神奈川県庁において、令和5年度「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定書」に基づく震災対策訓練に係る説明会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

特設作業隊関係

9月23日、宮崎第4公園において、令和5年度宮前区防災フェアが開催され、宮前作業隊より河合隊長をはじめ5社5名が参加し、災害派遣活動パネルの展示や重機等ラジコン操作体験などを行い、川崎建設業協会と特設作業隊のPRに努めた。

10月28日、川崎市立東高津小学校において、第22回高津地区防災訓練が開催され、高津作業隊から浅川隊長をはじめ8社10名が参加し、災害派遣に係る作業隊出動時の記録写真の展示を行い、川崎建設業協会と特設作業隊の広報に努めた。

11月15日、幸区役所において、令和5年度幸区自主防災組織連絡協議会「第2回常任理事会」が開催され、幸作業隊より吉田隊長が出席した。

11月30日、市役所本庁舎において、中原建友会（中原作業隊）と中原区選出市議会議員との意見交換会が開催され、中原議員団から代表幹事・末永市議をはじめ10名が出席、中原建友会（9名のうち中原作業隊9名）の横山会長並びに、中原作業隊から重田隊長をはじめ9名が出席し、2024年度問題や川崎市の入札制度の現状、週休2日制確保工事の工期・労務単価の見直しなど、多岐にわたる要望等について意見交換を行った。

11月26日、川崎市立菅生小学校において、令和5年度第1回宮前区総合防災訓練が開催され、宮前作業隊から河合隊長をはじめ6社6名が参加し、防災啓発や重機等ラジコン操作体験などを行い、川崎建設業協会と特設作業隊の広報に努めた。

12月4日、幸区役所において、令和5年度第1回幸区災害対策協議会地域防災連携部会が開催され、幸作業隊より吉田隊長が出席した。

表彰

（敬称略）

会員企業従業員永年勤続協会表彰

9月27日、9月太子講祭において

㈱石塚土木	齋藤 瑞祥	㈱石塚土木	加藤 武
㈱織戸組	城所 京佑	㈱幸栄工業	齋藤 由季
㈱幸栄工業	AHMED KHALID	㈱小沼工務店	山口 圭
ジェクト㈱	高田 恵	ジェクト㈱	宮本 美生
篠原建設㈱	武内 麻美	㈱伸栄工事	渡邊 健一
神明建設㈱	中住 征樹	神明建設㈱	栄 康志
神明建設㈱	江崎 剛志		

令和5年度川崎市労働災害防止功労者・功労団体表彰

11月14日、川崎市産業振興会館において

◆川崎市労働災害防止功労者

㈱村松工務店 代表取締役 村松 久

◆川崎市労働災害防止功労団体

月野建設㈱

会員消息

会員の入会

㈱I&I 代表取締役 今村 文治（11月1日付）

代表者変更

㈱石岡組 代表取締役 石岡 徹（11月1日付）

大川原建設㈱ 代表取締役 大川原 勝（11月30日付）

令和5年8月18日

第3回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
12月例会、今後の活動等について協議した。

令和5年9月15日

第4回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
県青連(神奈川県建設業青年団体連絡協議会)秋季親睦会の担当幹事としての準備等について協議した。

令和5年9月22日

県青連(神奈川県建設業青年団体連絡協議会)

令和5年度秋季幹事会

午後6時より、川崎ダイスビル「煌蘭」にて開催。
10月に開催する県青連(神奈川県建設業青年団体連絡協議会)秋季親睦会について、各団体の幹事と協議した。

令和5年10月13日

第5回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
県青連秋季親睦会、リーダースカップ等について協議した。

令和5年10月27日

県青連(神奈川県建設業青年団体連絡協議会)

令和5年度秋季親睦会

午後4時30分より、川崎グランドボウルにて開催。
終了後、「炭火焼肉 食道園」にてボウリング大会の結果発表と親睦会を開催。

★団体

- | | |
|-----|------------|
| 優勝 | 厚木市建設業二世会 |
| 準優勝 | 川崎建設業協会二世会 |
| 三位 | 横浜建設業青年会 |



令和5年11月7日

第6回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
1月例会(新年懇親会)、今後の活動等について協議した。

令和5年11月17日

横浜建設業青年会「OPEN例会」開催

神奈川県建設会館にて開催。
横浜高校野球部 元監督 渡辺 元智 氏による、
「成功より失敗、栄光より挫折から学ぶ」と題した講演会を拝聴。
講演会終了後、懇親会が開催された。



令和5年11月26日

第98回リーダースカップ

「オークビレッジカントリークラブ」にて開催。

参加者 11名

優勝 河合 一徳

準優勝 加藤 大貴

3位 小川 祐司

令和5年12月11日

第7回 役員会・令和5年締めめの忘年懇親会

午後6時より、「炭火烧肉 大將軍」にて開催。
来年の活動についての協議を行った後、一年の労をねぎらった。



第44回かわさき市民祭り

令和5年11月3日から5日に渡り、晴天の中「かわさき市民祭り」が開催されました。

【つくろうみんなのひろば】を合言葉に、川崎の魅力やポテンシャルを市内外にアピールするため市民・事業者・行政が一体となり大盛況の3日間となりました。

コロナ禍を経て、たくさんの来場者の楽しんでる姿を見ていると、やはり川崎の風物詩だと改めて実感しました。

毎年参加して思うのですが、感覚として「市民祭りに行く」というよりも「市民祭りに帰ってきた」と表現する方がしっくりくると感じます。

全国各地の名産品を食するもよし、
お目当ての屋台飯を楽しむもよし、
衣装に替えてフラダンス発表会に参加するもよし、

スタジアム内で子供を目一杯遊ばせるもよし、
楽しみ方は色々だと思いますが、みんなこの日だけは「川崎っ子」に戻れる、そんな居心地の良さも市民祭りの魅力の一つだと思います。

川崎建設業協会におきましては、展示コーナーに大人気の重機ラジコンコーナーが復活し、恒例のバックホウでの写真撮影、子供たちへのペーパーラフトやお菓子の配布、災害時等における復旧支援活動のパネル設置等、市民の皆様と触れ合いながら地元建設業者の活躍をアピールできる有意義な時間となりました。

今年は川崎市市制100周年となり、例年以上の盛り上がりを見せるであろう「かわさき市民祭り」に、またみんなで帰ってきましょう！





第44回 かわさき市民祭り

令和5年11月3日(金・祝)

・4日(土)・5日(日)

時間:午前10時~午後4時30分

会場:川崎区富士見公園一帯





現場レポート 「川崎市新本庁舎竣工を迎えて」

2023年11月6日（月）に川崎市役所新本庁舎の開庁記念式典が開催されました。

順次業務も開始され、川崎市市制100周年の年を迎えて、様々なイベントも行われ、賑わいができています。今回は担当者様への取材及び現地の見学をさせていただきました。

■ 本庁舎を建て替えるにあたり、テーマやイメージ、キーワードのようなものはありましたか？

また、新本庁舎の見どころや防災拠点としてのどのような設備があるか、工夫した点などあれば教えてください。

目標は防災・危機管理が一番となります。次に施設機能・経済性、環境配慮、文化・おもてなし、まちづくりとなります。細かい設計コンセプトは川崎市のHPにも載せていますのでご覧ください。

デザインは多様性をテーマとし、建物・敷地内全体に広げて考えています。

旧本庁舎は昭和13(1938)年2月に竣工し、戦中も消失を免れ、戦後は人口増加に伴う行政機能拡充のために、増築を行いながら川崎市の行政の中心を担ってきました。

そのまま保存したほうがいいなど、様々な意見がでましたが、耐震性能不足等の課題から一旦解体したうえで、外観の一部を再現し、創建当時の姿を復



スカイデッキ・展望ロビーからの眺め



元する「新築復元」の手法を採用することとなりました。

昔の姿を知っている市民の方々からは喜びの声を多くいただいています。

歴史展示も行っています。

アトリウムは朝の9時～21時まで解放しており、様々なイベントで利用いただいています。

そのほかには25階のスカイデッキ・展望ロビーも多くのお客様に利用いただいています。

夜景もきれいで、川崎は展望台が少ないので、見慣れない風景や多摩川が地図で見るように蛇行していることが実感できる景色が見られるのでおすすめです。

防災の観点でいいますとアトリウムは緊急車両の乗り入れが可能な多目的防災スペースとして利用できます。ハザードマップ上では冠水するエリアに立地しているため、免震層を3階と4階の間に設けており、4階と5階に機械室、6階に災害対策機能、7階に市長関連機能を配置し、災害が起こったときの



機能連携を重視して設計しました。

工夫した点としては、復元棟のアトリウム側をガラス張りにして、平常時は会議室に使用して活動している状況が見られるようになっていて、アトリウムの賑わいを演出しています。

■各階がフリーアドレスを採用していると聞いていますが、実際使い勝手はいかがでしょう？

グループ単位で指定された範囲の中でフリーアドレス（自分の席が決まっておらず、座る場所が自由）を実施する、グループアドレスを採用しています。範囲の指定がないと、来庁されたお客様が混乱してしまうので、部や課の単位での決められた範囲の中で自由に仕事をしてもらう形です。一人一人にロッカーが用意され、退庁時にパソコン等を全てしまうというルールになっています。また、ペーパーレス化を目的として様々なところにモニターや会議スペースを配置し、同じ部・課内の打ち合わせはもちろんですが、他部署との打ち合わせもすぐにできる等、効率性を高めていると考えています。



- 意外と知られていない新本庁舎の活用方法はありますか？また、新本庁舎のなかに市民が利用できる、楽しめるスポットはありますか？

屋上庭園や2階の回廊デッキにテーブル、椅子がありますので、休憩することができます。これからコンビニやカフェが入居するので、テイクアウトしていただき、休憩されるのもいいと思います。

地下の駐車場は平日は市役所利用者が優先で、料金が高めの設定ですが、閉庁後や土日などは料金も下がりますので停めやすくていいと思います。

今後テレビ番組などの撮影にも使われることもあると思います。

高層棟のエントランスに給水器を設置しました。これは水筒に給水できる仕様としており、旧本庁舎でも近隣の小学生の利用がある等、需要があると考え今回も設置しました。

夜に復元棟前の広場をライトアップしており、季節に合わせて図柄も変えているので、楽しめると思います。



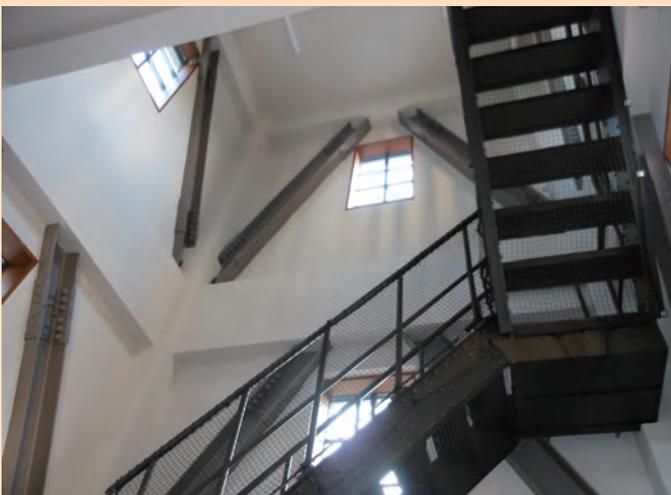
そのほか、1階に授乳室、議場の傍聴席には親子席を設けています。

川崎市や旧本庁舎の歴史紹介映像や資料を展示した展示室があります。高層棟のエントランスロビーに情報発信スペースがあり、その時その時の川崎市のおすすめ情報が更新されますので、気にしてみてくださいと思います。25階の展望フロアでも展示会を開催することもあります。

新本庁舎は数多くの案内サインがあり、その案内サインの側面には写真募集にて市民の皆様から応募いただいた写真を貼り付けており、市民参加を促しました。

また、建物の仕様については、コンクリートや木、鉄など様々な種類の材料が用いられ、使い方も工夫されており、川崎市のブランドメッセージでもある多様性を表現しています。

沢山の魅力が詰まった本庁舎となっていますので、ぜひ皆様も足を運んでみてください。





工事名称 コンテナ関連施設内付帯施設新築その他工事
建物名称 コンテナ関連施設内付帯施設
 (バンチェックゲート、作業員詰所、屋外便所、ガードマンボックス、照明塔)
工事場所 川崎市川崎区東扇島93番地内
工事概要 コンテナ関連施設内の建築物新築(4棟)、照明塔の新設(5塔)
 敷地面積 40,000㎡

- バンチェックゲート
鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)
高さ:8.8m 建築面積:395㎡ 延べ面積:424㎡
- 作業員詰所
鉄骨造
高さ:4.5m 建築面積:110.939㎡ 延べ面積:105.445㎡
- 屋外便所
構造:鉄筋コンクリート造
高さ:4.2m 建築面積:20.091㎡ 延べ面積:20.091㎡
- ガードマンボックス
構造:鉄筋コンクリート造
高さ:3.5m 建築面積:4.0㎡ 延べ面積:4.0㎡
- 照明塔
構造:鉄骨造 高さ:20m 基礎形状:PHC支持杭基礎
- その他 舗装工事・電気設備工事・機械設備工事

発注者 川崎市長
設計・監理 有限会社松中一級建築士事務所
工期 令和4年11月14日～令和5年9月29日
施工 大川原建設 株式会社
 ☆令和5年度 川崎市優良事業者表彰(業種:建築) 被表彰者





工事名称 南町地区下水枝線第103号工事
工事場所 川崎市川崎区南町地内
工事概要 管きょ工(開削)(雨水)内寸1700mm×1000mm~1800mm×1000mm L=63.9m
 管きょ工(開削)(合流)(内径250mm~700mm) L=578.0m
 マンホール工(合流) 11箇所
 付帯工 1式

発注者 川崎市上下水道事業管理者
監督官庁 川崎市上下水道局 下水道部 南部下水道事務所
工期 令和3年7月30日~令和4年11月30日
施工 株式会社 由貴工務店

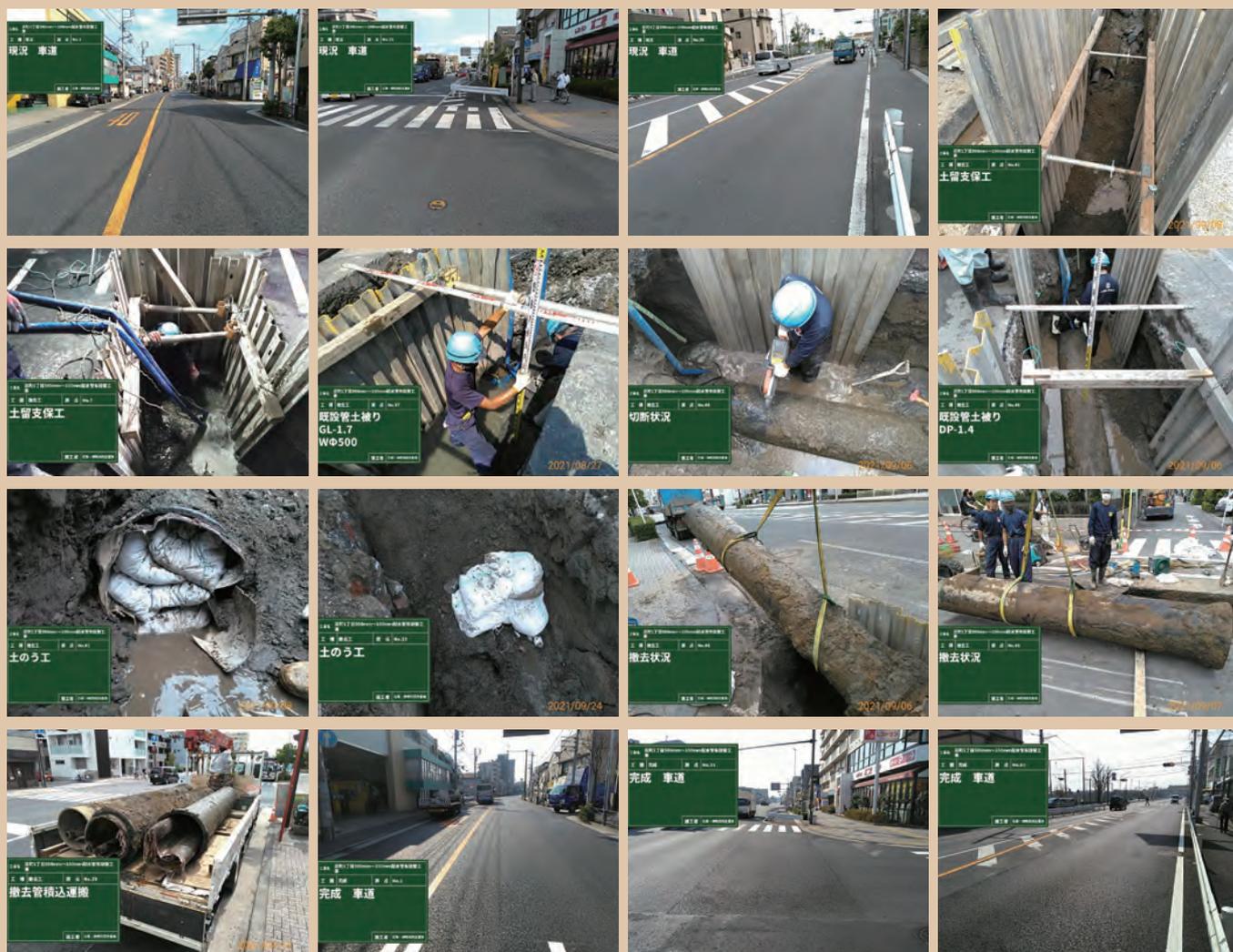
コメント ☆令和5年度 川崎市優良事業者表彰(業種:下水管きょ) 被表彰者
 川崎駅近くの繁華街を中心とする路線において、川崎区南町地内の管路施設を改築する工事でした。

履行場所は多くの商業施設が立ち並ぶ地域であったため、営業に与える影響を最小にする工程管理をし、激しい往来の中、現場の安全管理に細心の注意を払いつつ、施工しました。

関係事業所や住民の皆様のご協力もあり、無事に完工できたこと、また、表彰対象となる高い評価をいただけたことに深く感謝しております。

ありがとうございました。

会員の作品



工事名称 京町1丁目500mm-100mm配水管布設替工事
工事場所 自:川崎区池田2-5-7先 至:川崎区京町3-6-6先

工事概要
 配水管300mm布設延長 L=1243.5m
 配水管200mm布設延長 L=50.4m
 配水管150mm布設延長 L=43.2m
 配水管100mm布設延長 L=90.4m
 配水管500mm撤去延長 L=1221.0m
 配水管300mm撤去延長 L=30.0m
 配水管200mm撤去延長 L=182.8m
 配水管150mm撤去延長 L=959.3m
 配水管100mm撤去延長 L=225.4m
 付帯工 1式

発注者 川崎市上下水道事業管理者
監督官庁 川崎市上下水道局 第1配水工事事務所 水道整備課
工期 令和3年5月21日~令和5年3月31日
施工 石塚・神明共同企業体

☆令和5年度 川崎市優良事業者表彰(業種:水道施設) 被表彰者
 ☆令和5年度 若手技術者表彰 被表彰者 石塚 太一(株式会社 石塚土木)
 ☆令和5年度 女性技術者表彰 被表彰者 星野 弘美(神明建設 株式会社)

復元された旧本庁舎

旧本庁舎は昭和13（1938）年2月に竣工しました。大通り側は3階建て、東側は2階建て、約36メートルの時計塔を有した建物でした。戦中も消失を免れ、戦後は人口増加に伴う行政機能拡充のために、増築を行いながら川崎市の行政の中心を担ってきました。

永きにわたり川崎市のシンボルとして市民に親しまれてきましたが、耐震性能不足等の課題から、平成26（2014）年に建て替えが決定し、平成28（2016）年に解体され、78年の歴史に幕を閉じました。

旧本庁舎は、文化財等の指定は受けていませんでしたが、その建築的価値は、神奈川県近代化遺産調査において高く評価されていました。また、旧本庁舎の外観を継承すべきという意見もあったことを踏まえ、旧本庁舎を一旦解体した上で、外観の一部を再現し、創建当時の姿を復刻する「新築復元」の手法が採用されました。

復元にあたり、創建当時の様相を明らかにするため、文献資料や実測等の入念な調査が行われました。この度の復元では創建当時の部材を復元及び再利用し、当時の面影が随所に継承されています。

本庁舎復元棟の1階には、旧本庁舎の歴史を紹介する展示室で、歴史紹介映像や、旧本庁舎解体から新本庁舎完成までのタイムラプス、復元部材の紹介のほか、旧本庁舎の部材の一部や建設当時の棟札、建物を支えていた松杭などが展示されています。ぜひ足を運んで、歴史を体感してください。



撮影者：山岸 剛

編集後記

新年あけましておめでとうございます。新たに2024年が始まりました。

昨年は、世界各地で様々な重要な出来事やトピックが話題となりました。その一部を挙げてみます。

世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症の影響は、2023年も大きな関心事の一つでした。ワクチンの普及や予防対策の強化により、感染者数や死者数は減少しました。日本では位置づけが2類から5類（インフルエンザ相当）に移行されました。

テクノロジーの進化が加速しました。人工知能（AI）、ロボット技術、自動運転車など、さまざまな分野で革新的な技術が登場しました。また、5Gの普及が進み、高速で安定した通信環境が提供されました。

気候変動問題はますます深刻化し、持続可能な開発やグリーンエネルギーへの取り組みが強化されました。多くの国や企業が温室効果ガスの削減目標を設定し、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー施策が進められました。

各国の政治情勢にも注目が集まりました。ロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナ・ガザ地区での軍事衝突、米中関係や北朝鮮の核問題など、世界の政治情勢は常に変化しています。

これらは2023年における主なトピックであり、私たちの社会や世界の状況を形成する要素でもあります。新たな出来事や変化は常に起こり続けています。

このような状況下で、建設業界も材料価格の高騰に伴い、現場の利益率が低下し、スライド条項の適用等で補なっている状況ではありますが、今後の材料高騰はまだ落ち着きそうもありません。2024年も皆様と一緒に色々な問題を考え、対応していくことが求められていくと思います。

今年は市制100周年です。皆様と一緒に川崎市を盛り上げていきましょう。

本年も宜しくお願い致します。

川崎建設業協会のTwitterです。
ぜひご登録をお願いします。



発行所……………一般社団法人 川崎建設業協会

川崎市川崎区宮本町7番地5

電話 044-244-5156(代) FAX 044-211-2420

発行責任者……………山根 崇

編集者……………一般社団法人 川崎建設業協会 企画委員会

